



TML-NET

特長

- 結線・分岐が容易
- モジュール部は小型軽量のため設置が容易
- ケーブル延長による感度低下がない
- センサの近傍でデジタル処理されるためノイズに強い
- 絶縁抵抗の低下に影響されない
- 総延長距離 2km 以内。(データロガーと NDR-100 間)
- 総延長距離 2km 以内。(NDR-100 とネットワークモジュール間)
- 2 線式、4 線式は混在可能
- スイッチボックスと併用も可能。各測定器間が絶縁されている。

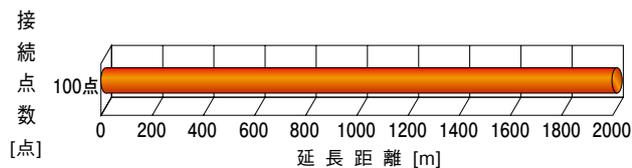
TML-NETは、2線式のネットワークラインにて計測の制御およびデータの転送を可能とすると共に、電源供給もおこなう当社独自のネットワークです。ネットワーク上のコマンドおよびデータはクロックと共に転送され、双方向の通信が可能な当社独自のネットワークです。ネットワークモジュールはひずみゲージ・直流電圧信号・T型熱電対の近傍にて測定回路を構成し、測定データをデジタル化します。デジタル化されたデータはネットワークに接続したネットワーク・ドライバによりデータロガーに転送します。(ネットワーク・インターフェースを使用すると直接パソコンと接続可能です。)従来型と比べ1/10の低消費型のネットワークモジュール NSW-011C、NSW-014CおよびNSW-024C (2CHタイプ) が加わり、従来型のネットワークモジュールより接続点数や延長距離を多く得られます。デジタル化した信号でデータを転送するため、ケーブル延長による感度低下およびケーブルの絶縁低下の影響がなく長期間安定した計測ができます。また、簡単な配線で、ひずみ、ひずみゲージ式変換器、電圧、温度などの相関を必要なチャンネル数分、一括して計測、処理、そして記録できるというメリットがあります。

TML-NET (ネットワーク部) 仕様

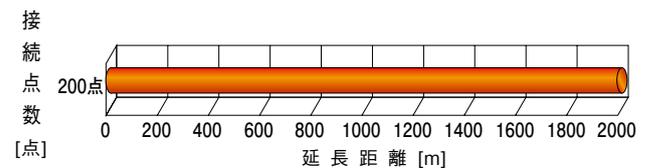
通信部仕様 (2線式、4線式)

伝送方式	2線式 (4線式) 双方向シリアル転送
接続点数	1系統 100点まで最大1000点まで接続可能
標準使用ケーブル	専用2心シールドケーブル (2-1.25L1)
総延長距離	1系統2km以内 (下図参照)
計測時間	200ms/点 (転送時間含む)
ループ接続	可能
ターミネータ	不要

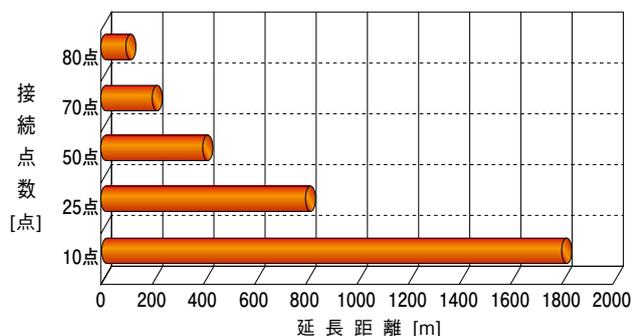
ネットワークモジュール：NSW-011C、NSW-014C
2線式 延長距離



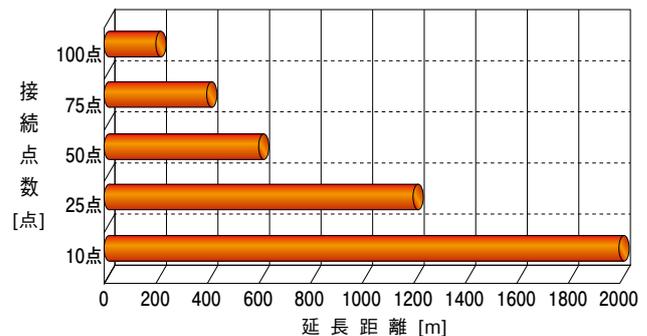
ネットワークモジュール：NSW-024C (2CHタイプ)
2線式 延長距離



ネットワークモジュール：NSW-01VB、NSW-01TB、NSW-01C
2線式 延長距離



ネットワークモジュール：NSW-01VB、NSW-01TB
4線式 延長距離



専用シールドケーブル使用 2線式：1本 4線式：2本